

「県北地域感染症情報レター」に関する御意見、御質問等につきましてメールにて返信くださるようお願いいたします。  
県北保健福祉事務所生活衛生部医療薬事課 メールアドレス hofukunet\_kenpoku@pref.fukushima.lg.jp

## ★福島県感染症動向調査 週報★

(県内の情報及び週報は、「福島県感染症情報」を検索してください。)

### ！ 県北地域情報 ！ (4月20日発表)

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の小流行が続いています。
- ・伝染性紅斑の流行が見られます。



### ☆インフルエンザについて☆

- ・県北地域のインフルエンザ患者報告数は減少してきましたが、流行状態は続いています。インフルエンザB型の割合が多くなっています。インフルエンザは、高熱、関節痛、筋肉痛等全身の症状が突然現れます。
- ・油断せず感染予防対策を続けて下さい。咳エチケットや手洗い、うがいの予防対策に努めましょう。

## ジカウイルス感染症について

ジカウイルス感染症は、1947年にウガンダのジカの森のアカゲザルから初めて分離されたものです。

### 症状

軽度の発熱(38.5℃以下)、頭痛、関節痛、筋肉痛、斑丘疹、結膜炎、疲労感、倦怠感などで、血小板減少などが認められることもあります。潜伏期間は2～12日とされています。また、不顕性感染が感染者の8割を占めるとされています。

### 感染経路

主な感染経路は、蚊によるジカウイルスの媒介で、ネッタイシマカはしばしば流行を引き起こしています。母体から胎児に垂直感染を起こすことがあり、小頭症等の先天性障害を起こす可能性があるとされています。世界では性行為による感染伝播が疑われる報告もあります。

### 予防接種や治療方法

ジカウイルス特有のワクチンや治療薬はありません。治療は対症療法です。

### ！ 予防方法

海外流行地へ渡航する際は、蚊に刺されないよう注意しましょう。長袖・長ズボンの着用、虫よけ剤を使用します。妊婦や妊娠の可能性のある女性は渡航を控えた方が良いとされています。日本の国内感染の報告はありません。



(参考) 厚生労働省ホームページホーム

※ジカウイルスについて(Q&A、流行地等)

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

※梅毒に関するQ&A

→ [http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html](http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html)

## 梅毒について

《梅毒の患者報告数が、**2015年は2010年比べて、全国、福島県ともに約4倍に増加しています！！**》

梅毒トレポネーマという菌が原因でおこる感染症です。

### 症状

初期には、感染がおきた部位(主に陰部、口唇部、口腔内、肛門等)にしこりができることがあります。治療をしないで3か月以上を経過すると、手のひら、足の裏、体全体にうっすらと赤い発疹が出ることがあります。数年後に複数の臓器障害につながる可能性があります。

### 感染経路

感染部位と粘膜や皮膚の直接の接触により感染します。主に性行為による感染伝播です。

### 検査

血液検査(抗体検査)で判断します。医療機関で検査可能です。検査希望者は事前に医療機関に電話連絡をしてからの受検をおすすめします。

### ！ 予防方法

性行為のはじめからおわりまでコンドームを使用することで、リスクを減らすことができます。



6月1日～7日は  
「HIV検査普及期間」

です！

県北保健所でも検査が可能です。(梅毒検査は実施していません)

第1～4月曜日 14:00～

完全予約制ですので、検査希望・相談のある方はご連絡下さい。